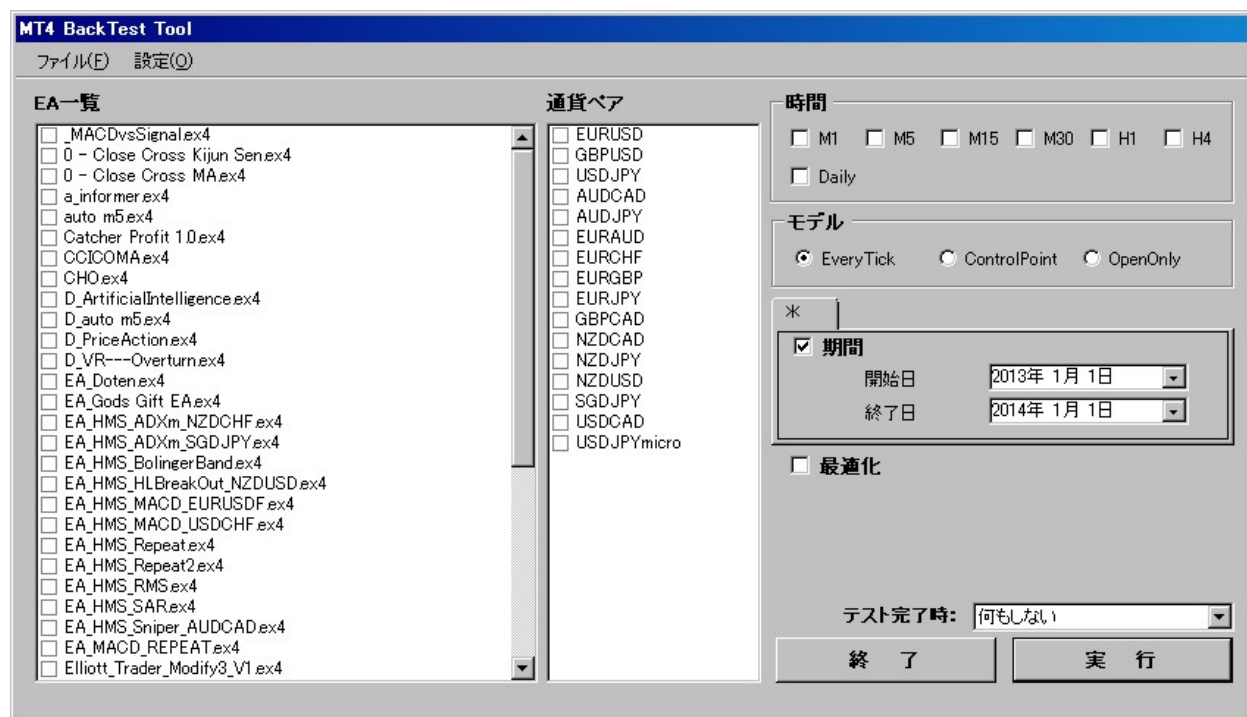


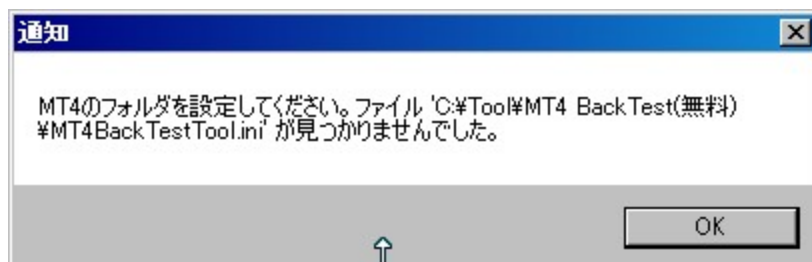
MT4 BackTest Tool(無料版) 利用説明書



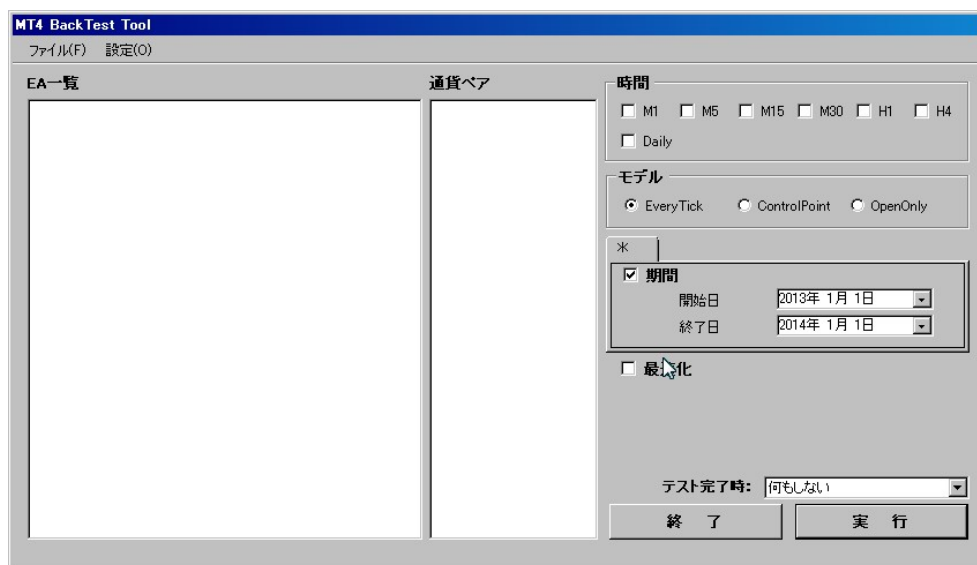
機能

- ・ 複数のEA、通貨ペア、時間足、期間を選択して、その全ての組み合わせでのバックテストを一括で行うことができます。

1. 起動・環境設定



初めて起動すると、上記の画面が表示されますので、環境設定を行います。



ツールバーの設定メニューを開きます。



Mt4System : テストで使用するMT4がインストールされているメインのフォルダです。

MT4Data : MT4のデータフォルダです。MT4のツールバーメニューの「データフォルダを開く」を実行したときに表示されるフォルダです。

MT4Testet : MT4Dataの中にある[tester]フォルダです。

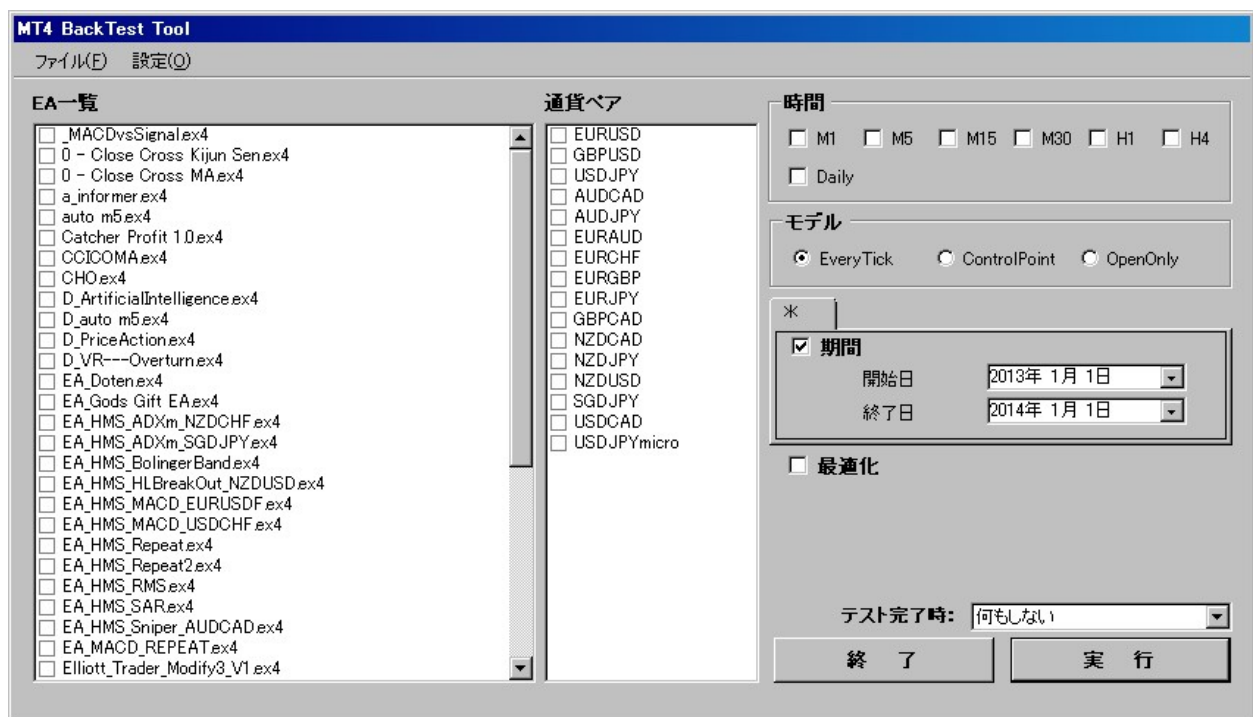
結果保存先 : MT4が作成したバックテストレポートファイルを任意の場所に移動させるための設定です。

日付時間フォルダを作る : 結果保存先フォルダにレポートファイルを移動する際に、テストを行った時間のフォルダを作成して、そこに保存します。

MT4実行時オプション : MT4起動時の追加オプションです。ポータブルモードでテストを行う場合は、[/portable]と入力します。

設定を変更した場合は、MT4 BackTest Toolを再起動してください。

2. メイン画面



EA一覧 : MT4に登録されているEAの一覧が表示されます。

通貨ペア : [通貨ペアファイル]に登録されている通貨ペアの一覧が表示されます。

最適化 : 通常の最適化バックテストを行います。

テスト完了時 : 以下が選択できます。

何もしない : 何もしません

シャットダウン : Windowsをシャットダウンします

サスペンド : Windowsをサスペンド状態にします

休止 : Windowsを休止状態にします

MT4 BackTest Toolを終了 : MT4 BackTest Toolを終了します

終了 : MT4 BackTest Toolを終了します。

実行 : 設定した条件でバックテストを開始します。

3. 通貨ペアの編集

MT4 BackTest Toolをインストールしたフォルダにある[Symbol.ini]ファイルを、メモ帳等のテキストエディタで編集します。

[Symbol.ini]ファイルを編集した場合は、MT4 BackTest Toolを起動し直してください。

4. パラメータファイル編集画面



メイン画面のツールバーメニュー-[パラメータファイル]から開きます。

MT4で外部から起動してバックテストを行う場合、各EA用のバックテストパラメータ設定ファイル[* .set]が必要になります。

通常はMT4の「エキスパート設定」で保存します。(下記の保存ボタン)



新規作成：選択されているEA、通貨ペアに対するパラメータファイルを作成します。

EAのみが選択されている場合は[EA名.set]ファイルが作成されます。

EA & 通貨ペアが選択されている場合は[EA名_通貨ペア名.set]ファイルが作成されます。

通貨ペアごとにパラメータを変更したい場合は、通貨ペア名を含めたパラメータファイルを作成してください。

コピー：選択されているパラメータファイルを複写して新しいパラメータファイルを作成します。

リネーム：選択されているパラメータファイルのファイル名を変更します。

パラメータファイルは必ず[EA名]または[EA名_通貨ペア名]で始まる必要があります。

この部分を変更した場合は、バックテスト時に読み込まれません。

削除：選択されているパラメータファイルを削除します。

上書き保存：各パラメータの値、最適化対象有無（チェックボックス）、開始値、間隔値、終了値を入力された値で更新します。

注意 1) 各パラメータの変数名はEAで使用する生の名称が表示されます。表示される項目、順番はMT4で表示されているものと同じです。

注意 2) コメント部についてはMT4での表記そのままに表示されない場合があります。バックテスト時には問題ありません。

注意 3) パラメータファイルを本画面で読み込んだ場合、変数の型（数値型、文字型、Bool型等）の判別ができません。そのため数値の欄に文字、あるいはその逆を入力した場合、チェックは行いません。

違う型の値が入力された場合、バックテスト結果は取引0のレポートが作成されます。

注意 4) bool型の項目（True/False）については、MT4のエキスパート設定画面及び本設定画面で開始値/終了値を設定した場合、バックテストが正常に行われない場合があります。設定しないようにお願いします。

バックテスト時に使用されるファイル順)

本画面の「最適化パラメータリスト」一覧で最上位に表示されるパラメータ設定ファイルが使用されます。

具体例でいうと[MACD Sample.ex4]をUSDJPYでテストする場合、まず[MACD Sample_USDJPY]で始まるファイルのうち、画面で最上位に表示されるパラメータファイルが存在すれば、それを使用します。

ない場合は[MACD Sample]で始まるパラメータファイルのうち、画面に最上位に表示されるパラメータファイルを使用します。どちらもない場合はテスト実行ボタンを押したときにエラーを表示します。



5. その他

バックテストで出力されるファイル名)

繰り返し機能を使わない場合 :

最適化有 : 001_(EA名)_(通貨ペア名)_(時間足)_(開始日)-(終了日)_0.htm

001_(EA名)_(通貨ペア名)_(時間足)_(開始日)-(終了日)_0.gif

最適化有 : 001_OptimizationReport_(EA名)_(通貨ペア名)_(時間足)_(開始日)-(終了日)_0.htm

001_OptimizationReport_(EA名)_(通貨ペア名)_(時間足)_(開始日)-(終了日)_0.gif

バックテスト中のキャンセル)

MT 4 が起動している間は、キャンセルボタンは押しても効きません。

MT4の画面が消えてから次のテストが始まるまでの時間が約3秒ありますので、その間にキャンセルボタンを押すか、ESCキーを押し続けてください。

メイン画面)

ツールバーメニュー

MT4起動 : MT4を起動します。

パラメータファイル : 最適化パラメータファイル設定画面を開きます。

結果フォルダ : テスト結果が保存されているフォルダを開きます。